

様式 3

議事録

全部記録 要点記録

1. 会議名	令和4年度 第1回 姫路市地域公共交通会議離島航路分科会
2. 開催日時	令和4年6月22日(水曜日) 午前10時50分～午後12時10分
3. 開催場所	姫路ポートセンタービル5階 503号室
4. 出席者名	出席者 委員 池田一憲、池田田鶴、鎌谷和弘、岸本成喜、喜多秀行、小林正和、柴田桂太、土谷理恵、畑野長利、丸吉浩、吉村裕行(50音順 敬称略)
5. 傍聴の可否及び傍聴人数	傍聴可、傍聴人 なし
6. 議題	<p>【審議事項】</p> <p>(1) 姫路港～坊勢島航路 生活交通確保維持改善計画(案)について</p> <p>【報告事項】</p> <p>(1) 令和4年度公共交通事業者への支援について</p>
7. 会議概要	
事務局	<p>只今より、「令和4年度第1回 姫路市地域公共交通会議離島航路分科会」を開催いたします。</p> <p>本分科会の開催には、「姫路市地域公共交通会議離島航路分科会規約」第7条第2項の規定により、委員総数の半数以上の出席が必要とされております。本日は、委員14名中、半数以上の11名の出席をいただいておりますので、本会議が成立していることをご報告させていただきます。また、会議は、本分科会規約第7条第5項の規定により、公開することとなっておりますので、ご了承くださいますようお願いいたします。</p> <p>本分科会規約第6条第2項及び第7条の規定に基づき、会議の進行につきまして、会長よろしくようお願いいたします。</p>
会長	<p>本日は、お忙しい中、本分科会にご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。会議次第に沿って、進行させていただきます。それでは、会議次第「2 審議事項」の「(1) 姫路港～坊勢島航路 生活交通確保維持改善計画(案)について」を事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	【事務局説明】
会長	<p>只今の事務局からの説明につきまして、ご意見・ご質問等はございませんか。</p>

委員	<p>まず1点目は、冒頭で昨年の10月に補助金の内示がありましたが、航路維持の検討をしていたときに神戸運輸監理部から伺っていた内容と異なる部分もあり、今となっては驚いています。なぜこうなったか経緯をお伺いします。</p> <p>2点目は、資料1の2ページに過年度に実施した利用者推計の減少率（概ね5%）に基づき、旅客輸送量202,010人を目指すとありますが、この推計の検討をしたときには運賃値上げの話はなかったと思います。通常、値上げをした場合、利用者は減ります。今回の計画では値上げによる影響をどのように見込んでいるのでしょうか。人口減少による利用減、コロナによる利用減、それに加えて運賃値上げに伴う利用減があると思いますが、それをどのように組み合わせて推計されているのか説明をお願いします。</p> <p>3点目は、資料1の14ページにあります運賃改定等の中に島民割引の検討について記載がありますが、この割引制度と補助額との関係はどうなりますか。例えば、補助額は一定あり、その上で割引を行うもののでしょうか、そうではなく割引によって収入が減った分について補助額が積みあがるもののでしょうか。以上、説明をお願いします。</p>
事務局	<p>1点目の内示額につきましては、過去複数年にわたり国庫補助航路化に向け、事業統合の検討を進めて参りました。また昨年度には、計画を策定したところですが、内示額は本市としても驚いたところであり、神戸運輸監理部に説明を求めたところ、この航路においては国の標準化された運賃と比べ安すぎるという回答でした。また補助額につきましては、近年の動向である補助率36%ではなく、計画を策定したところの補助額として約5%という結果でありました。これまでの検討経緯を考えますと事業者もそうですが、結果については驚くものですが、前向きに進めるしかないと捉えています。本市といたしましては、引き続き国庫補助制度を活用したいと考えております。</p> <p>2点目の利用者の推計につきましては、人口減少やコロナによる利用者の減少、運賃値上げによる観光利用者の減少、コロナ禍ではありますが多少の回復を踏まえまして5%の減少率といたしました。</p> <p>3点目の島民割引の補助額との関係につきましては、離島住民割引は、陸上交通の運賃と比較し、その差額を国・自治体で1/2ずつ補助する制度でございます。本制度は、生活交通確保維持改善計画と抱き合わせの制度であり、この計画がなければ離島住民割引も適用されないということになっています。</p>
委員	<p>概ねわかりました。ご説明いただいた内容が資料に書かれておりません。例えば、利用者の推計におきましても、こういった要因をどのように考慮すればこの数字になるのか。我々だけではなく市民の方が読んでわかるように、妥当性が確認できる情報を入れるべきではないでしょうか。</p> <p>また、運賃値上げが利用者数に及ぼす影響はどのように推計されたのでしょうか。</p>

事務局	<p>島民利用につきましては、必要不可欠な利用ですのであまり減少しないであろうと考えています。ただ島外利用、余暇需要、観光需要につきましては、例えば釣り客はこれまでの傾向から減るだろうと思われます。ただ島外利用で余暇需要がどれくらいあるかは議論があるところですが、全体利用に占める割合としてはそんなに多くないと事業者と検討したところです。</p>
委員	<p>例えば、バスや地下鉄、鉄道の運賃を改定する場合、ある程度きちんとした予測の方法がありますが、そこまでは行っていないということでしょうか。</p>
事務局	<p>はい、そこまでは行っておりません。人口減少だけでなくコロナ禍の影響、アフターコロナ期の回復をどう見込むかの部分で推測になっています。</p>
委員	<p>もちろんきちんとした推計を行うには詳細な調査、分析が必要です。どの精度の推計が必要かという判断も必要になります。正確に推計したほうが良い点と、そうするとかえってコストも手間もかかるという点と勘案した結果、こういう推計の結果になったという説明があれば、納得してもらえないのでしょうか。</p>
事務局	<p>承知いたしました。資料に説明を追記させていただきます。</p>
会長	<p>補助金に関する経緯について委員からご意見を伺いたいと思います。</p>
委員	<p>経緯について簡単に説明します。補助金につきましては、補助金交付要綱に基づき資料を準備していただいております。改善計画認定申請が6月に提出があり、7月以降も申請内容につきまして姫路市と詳細な確認を重ねつつ、また本省からの照会事項の依頼についても対応していただいております。</p> <p>補助金内定額は、本省において算定されるものであり、地方出先機関では提出資料を確認するだけになっております。また補助金は、必ずしも欠損額に対し全額支払われるものではなく、標準化数値をベースに係数、標準単価により算出されます。離島航路の補助を受けていない航路事業者の実績等も含め算定された数値で算出しており、また時勢による変動もあることから、こちらとしても内定額がわかっていたわけではないということを申しあげておきます。</p>
会長	<p>本省で計算しているため、神戸運輸監理部では補助額まではわからなかったということでこのような形になってしまった。ですが我々としては航路を維持していかなければならないことから、このような場も含め情報共有を行いながら、進めていかなければならないと考えています。</p>
委員	<p>補助額がどのように決まったかという説明がほとんどで、なぜその説明が事前になかったかということが疑問です。予測がつかないこともあると思いますが、多くの関</p>

	<p>係者が想定外のことであったと思われます。そのような結果になる可能性があるということの説明なしに、統合すれば良いことが起こるということに終始されました。なぜ事前に、適切に選択する判断のもとになるような情報提供がなされなかったかについて、説明をお願いします。</p>
委員	<p>申し訳ありませんが、事前に説明をしなかったという経緯について当時の詳細なことはわかりません。</p>
会長	<p>本省で計算した結果、補助金の内定額が他の航路に比べると運賃が安いということから、こういう結果になったということで、それが事前にわかればよかったということですか。</p>
委員	<p>当然、交付要綱は姫路市でも確認されており、当方もそのことについて内容は確認しています。金額についてこれ以上申し上げることはできません。当時はそれが最善ということによって一本化という判断がされたのだらうと思います。</p>
委員	<p>当時の事情がよく分からないということではなく、後任としてきちんと説明すべきではないでしょうか。見解の相違や考え方の違いはあると思いますが、議論を戦わせてあるべきものを作っていくことは、こういった会議の基本だと思います。見解の違いがあってもお互い信頼感を持って、ことを進めていくべきです。その信頼感が揺らいでいます。ですから今後の議論の審議におきましても、国は公共交通の専門家として、どこまで信頼して議論していけるかということになってきます。全員が信頼できるものとして情報提供していただければと思います。</p>
会長	<p>ありがとうございました。今後この会議を通じて審議していくために、信頼できる情報として議論を密に行って参りたいと思います。事務局において他に何かありますか。</p>
事務局	<p>こちらとしましても、航路事業者はもちろんですが、神戸運輸監理部、姫路海事事務所と一体となって進めて参りたいと思っています。</p>
委員	<p>事業者としても姫路市と同様、こうなった以上、前を向くしかなくこの計画でお願いしたいと思います。</p>
会長	<p>ありがとうございます。前を向いていくということで進めて参りたいと思います。他に何かありますか。</p>
事務局	<p>先ほど委員からありました推計値の追記に関することにつきまして、2ページの下の4行目にある目標効果のところは運賃値上げによる利用者の減少、アフターコロ</p>

	<p>ナ期における利用者の回復傾向などを踏まえ、概ね5%減の旅客輸送量202,010人を確保すると追記したいと思います。</p>
委員	<p>2ページに記載の5%減は運賃改定による影響は含まれていない数字ですので、それにさらに値上げの影響を考慮した目標として不整合が生じないように記載していただければと思います。</p>
事務局	<p>承知いたしました。アフターコロナ期における利用者の回復傾向などを踏まえということで追記させていただきます。</p>
会長	<p>他にございますか。</p>
委員	<p>お願いになりますが、集客について島外の人をどうやって呼び込むかについてクラウドファンディングなどの記載がありますが、コロナのこともありますので計画どおりいくかは不透明とはいえ、コロナが落ち着いたときの集客機会を逃さないような何か具体的なことを考えていただきたい。事業者が費用を出して実施するというのは難しいと思いますので、県が何かイベントする際に一緒にするなり、市の他部署のイベントと一緒に取り組むなど色々考えていただければと思います。</p>
事務局	<p>本市も当課だけでなく地方創生室ならびに観光のセクションとタイアップして県並びに市の他部署とともに、坊勢島に足を運んでもらえるよう利用者増に向けた取り組みを進めていければと考えています。</p>
委員	<p>補足ですが、先ほど過年度の推計5%の内訳を伺ったわけではなく、それは過年度の報告書に書かれていますので、報告書の名前を記載していただければいいです。ここには値上げによる影響は含まれていませんので、その分は分離して足しこんだ形で推計値を出してください。</p>
会長	<p>事務局の方で一括して追記修正させていただきたいと思います。それでは、ほかにご意見がないようですので審議事項についてお諮りします。</p> <p>「(1) 姫路港～坊勢島航路 生活交通確保維持改善計画(案)について」、一部修正はありますが、承認してよろしいでしょうか。</p>
委員一同	<p>異議なし</p>
会長	<p>ありがとうございます。一部修正はありますが、承認とさせていただきたいと思います。つきまして報告事項といたしまして、「令和4年度公共交通事業者への支援について」事務局より説明をお願いします。</p>

事務局	【事務局説明】
会長	只今の事務局からの説明につきまして、ご意見・ご質問等ございませんか。
委員	<p>私どもも家島の定期航路を運営しております。家島航路におきまして高速いえしま、高福ライナー２社で統合の話し合いをしましたが、坊勢輝汽船の補助額をみましても、当然欠損額をすべて補助していただけたとは思っていませんが、あまりにもかけ離れた数字でした。距離的な標準運賃がどのように計算されているのか分かりません。</p> <p>また、集客のための企画をした場合、割引切符を販売することになりますが、割引より値上げをしないといけない状況において割引切符が適切かどうか。また、将来新造船に更新する時期が来ますが、設備投資に対する補助をしていただきたいと思いますが、費用の補助はございますか。</p>
事務局	<p>航路事業者にとっては設備費がかなり大きくなります。ご審議いただきました定期航路、姫路港坊勢島間の国庫補助は、補助金獲得が目的ではなく、あくまで航路維持が目的になります。</p> <p>また、先ほどの報告事項につきまして、これは国からの補助、臨時交付金によるものです。予算額は２億２，６００万円程で、現在開会中の市議会にてお諮りいただいております。内容は、乗合バス事業者２者で約５，７００万円、定期航路事業者５者で７，０００万円、鉄道事業者１者で５７０万円、タクシー事業者で８，８００万円を予算としております。可決されますと燃料価格高騰分による補助を今年度４月から来年２月までを対象期間として支援を行いたいと思っております。</p>
会長	設備投資の補助についてはなにかありますか。
事務局	本市では設備投資における補助は今のところありませんが、国交省では効率化船舶の建造にかかる補助制度があります。ただこれには様々な条件があるため、思われているような仕様の船舶の建造ができないかもしれません。中型船を保有する事業者は検査費用や燃料消費量、老朽化に伴う費用の赤字が懸念されるころだと思っておりますが、本市としては運営に関する支援を、設備投資につきましては補助内容が限定されますが国の効率化船舶の建造に対する支援となっております。
会長	他にご意見ございませんでしょうか。
委員	次回の予定はございますか。
事務局	今後の予定ですが、今回の資料を事務局の方で一部修正し、６月中に国へ認定申請させていただきます。また来年１月ごろに前回認定していただいたものを評価していただくことを予定しておりますので、よろしく願いいたします。

委員	<p>先ほど委員からご意見がありましたように一方で運賃値上げ、一方で企画切符による割引をすることに抵抗があるということでしたが、バランスが取れないことをすると島民感情的にもよくないと判断したため、今回から企画切符には参加しないことに決めています。運航につきまして慎重に進めていきたいと考えているのでよろしくお願ひします。</p>
会長	<p>他にないようですので、以上で審議を終了したいと思います。</p>
事務局	<p>委員の皆様におかれましては、熱心にご審議をしていただきまして、ありがとうございました。なお、本日の審議の結果に基づきまして、必要な手続きを進めて参りたいと存じます。それでは、以上をもちまして令和4年度第1回姫路市地域公共交通会議離島航路分科会を終了させていただきます。委員の皆様のご協力をもちまして、円滑に議事を進行することができました。ありがとうございました。</p>